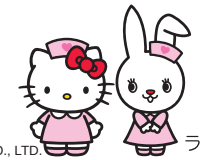
アデノウイルスキット
咽頭粘膜上皮細胞中のアデノウイルス抗原検出用

ラピッドテスタ hsアデノ 操作方法

HELLO KITTY
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.G 604397



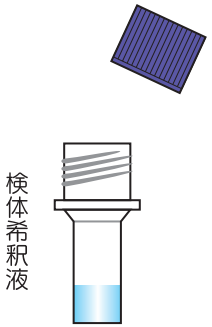
ラピッドちゃん®

SEKISUI
体外診断用医薬品
承認番号21900AMX00207000

キットの中身を確認しましょう

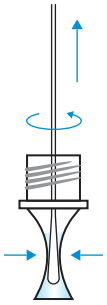
検査の前に用意しましょう

1 検体希釈液容器の蓋を開けます。

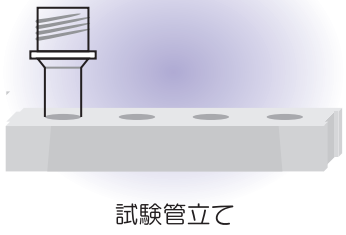


2 検体希釈液に、咽頭ぬぐい液を採取した検体（綿棒）を入れ、内壁に沿って回転させます。

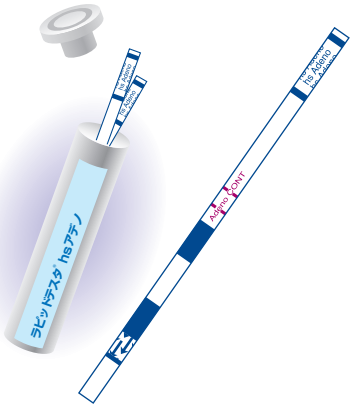
3 検体希釈液の容器の上から綿棒を強くはさみ、できるだけ多くの検体抽出液が残るように、綿棒の軸をひねり、溶液を搾り出しながら綿棒を引き出します。



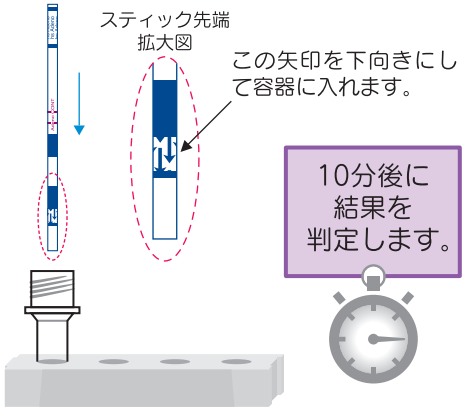
4 検体を抽出した検体希釈液の容器をキット付属の試験管立てにセットします。



5 テストスティックを缶から取り出します。



6 テストスティックを検体希釈液容器に入れます。



キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

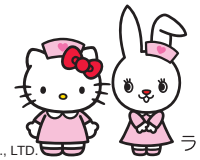
製造販売元 積水メディカル株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【お問合せ先】コールセンター：0120-249-977
http://www.sekisuimedical.jp/

アデノウイルスキット
咽頭粘膜上皮細胞中のアデノウイルス抗原検出用

ラピッドテスタ hsアデノ

測定結果の判定法

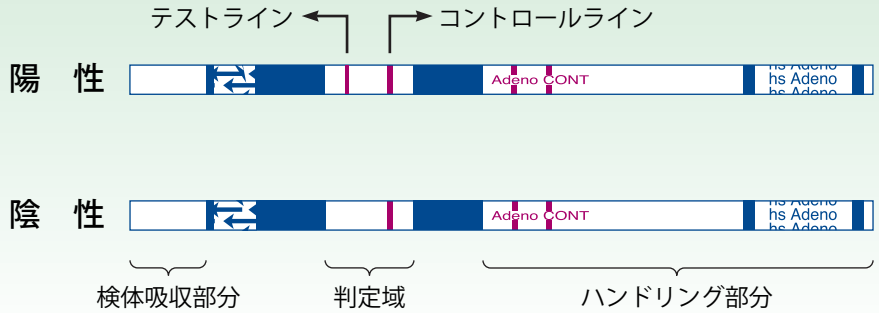
HELLO KITTY
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.G 604397



ラピッドちゃん®

SEKISUI
体外診断用医薬品
承認番号21900AMX00207000

判定例



無効例

① 判定域のコントロール部位にラインが認められない。

② 判定域全体が着色して、反応ラインやコントロールラインが認められない。

よくあるご質問

Q：コントロールラインとテストラインの一部に欠けが見られるが、どう判定すれば良いですか？

A：コントロールライン及びテストラインの一部に欠けが認められたり、破線となる場合がありますが、有効なラインと判定します。

Q：反応ラインに白いラインが見える場合は、どのように判定すればよいでしょうか？

A：テストスティックに含まれる空気が検体の流れと共に移動し、抗体塗布部（ライン部）前で溜まることで白く見えるものと考えられます。判定には影響がありませんので測定を継続してください。

Q：結果が無効の場合はどう対処すべきでしょうか？

A：もう一度検体を採取して別のテストスティックで再検査してください。

キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

「ラピッドテスタ」は積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。

製造販売元 積水メディカル株式会社
〒103-0027　東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【お問合せ先】コールセンター：0120-249-977
http://www.sekisuimedical.jp/

HS-002
0320 D I 50
2019-0079